

中央防災会議

「防災基本計画専門調査会」(第六回)議事概要について(速報版)

中央防災会議事務局(内閣府(防災担当))

1 専門調査会の概要

日時 : 平成14年5月10日(金)14:00~15:45

場所 : 虎ノ門パストラル(新館6F アジュール)

出席者 : 伊藤座長、片山委員、菊地委員、香西委員、志方委員、重川委員、土岐委員、能澤委員、福岡委員、藤吉委員
高橋政策統括官(防災担当)、北里消防庁次長 他

2 議事概要

事務局から資料に基づき説明があった。

各委員から、以下のような意見等が出された。

災害に関する研究の役割やその重要性についても記述するべきではないか。

○現在の行政区分である都道府県の単位に縛られることなく、新たな広域防災の概念を打ち出すべきではないか。

地域防災計画や防災基本計画を見直し、行政区分を越えてより柔軟な対応ができるようにするべきではないか。

○防災の分野は、防犯、街づくりといった他の分野との関わりが非常に大きく、そういった観点について考慮する必要がある。

○各地方公共団体において、被害想定の実現性を図る必要があるのではないか。

図上訓練は大変有効だと思うが、災害に関する研究等も考慮しつつ、常にフィードバックを行うべき。また、実動部隊の訓練についても強化するべき。

防災・危機管理の人材を育成することは重要であるが、そういった人材を全国的・広域的に活用できる仕組みが必要なのではないか。

○防災・危機管理に関する人材が持っている過去の教訓、経験、技術といったものを継承できる仕組みを構築すべき。

過去の経験上、災害時におけるコミュニティの役割は非常に大きく、コミュニティの形成を促進すべきではないか。

今回は、6月6日(木)午後2時から開催することとし、本日の意見交換を踏まえた、調査会としての報告案について審議することとなった。

以上

〔この件に関する問い合わせ先〕
内閣府政策統括官(防災担当)
防災総括担当参事官付 磯貝
TEL 03-3501-5408